

# 「三鷹の森ジブリ美術館」

白倉克彦 三鷹市企画部企画経営室主任

## はじめに

平成13年夏に公開されたアニメ映画「千と千尋の神隠し」(制作:スタジオジブリ)が、記録的な観客動員数を達成、数々の賞を受賞したことは記憶に新しい。その映画の公開に向けて制作が急ピッチで行われていたのと同時期に、三鷹市では、スタジオジブリと協働でアニメーション美術館の開館に取り組んでいた。

この美術館は、東京都三鷹市、緑に恵まれた都立井の頭恩賜公園という人気スポットの新たな名所として、平成13年10月に誕生した。その名も「三鷹の森ジブリ美術館」、正式名称は「三鷹市立アニメーション美術館」である。

開館後1年が経ち、外観も落ち着きを見せ始めているが、館内は連日、親子連れや若いカップルをはじめ、世代を超えたアニメファンで賑わっている。一番の人気スポットは、触って乗れる「ネコバス」で、子どもたちの笑顔と歓声が絶えることがない。また、館内は特に順路もなく、走り回る子もいれば、迷子になる子もいる。美術館らしくない不思議な美術館である。

## 三鷹の森ジブリ美術館の誕生 ～建設から運営まで～

### 「負担付き寄附」で公の施設に

この美術館は、スタジオジブリのアニメーション作品を中心とした展示を通じ、次代を担う子どもたちにメッセージを発信する施設として、また子どもたちに夢と希望を与え、世代を超えて愛される施設を目指して、三鷹市と徳間書店スタジオジブリとのコラボレーション(協働)によって実現した、文化施設の新たなかたちである。

具体的には、三鷹市が東京都から無償で使用できる予定の土地<sup>1</sup>を提供し、徳間書店側(株式会社ムゼオ・ダルテ・ジブリ<sup>2</sup>)が建物を建設、「負担付き寄附<sup>3</sup>」により「公の施設<sup>4</sup>」としたことが挙げられる。

当初、市では、この土地に民間施設を誘致する方法を考えていたが、「都立公園内には民間施設を設置できない」という問題に直面した。

そこで東京都と交渉を重ね、三鷹市の「公の施設」とすることが基本条件である旨の回答を得た。公の施設とは、「三鷹市所

有の建物」を意味し、そのためには徳間書店側からの寄附が必要となる。多額の建設費を投じる建物であり、困難な条件であると考えていたが、徳間書店側から快諾が得られた。背水の陣で臨んだ三鷹市としては、最大の難関を乗り越えたこととなる。

### 「利用料金制」による独立採算経営

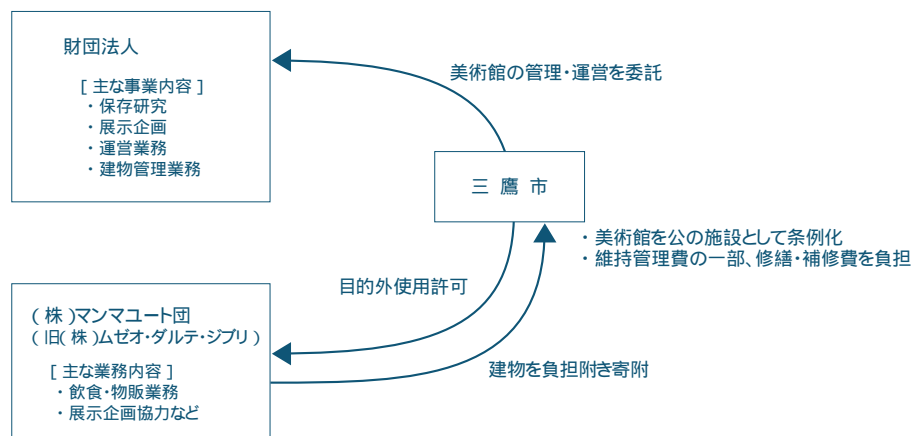
美術館の運営は、三鷹市などの出資により設立された「財団法人徳間記念アニメーション文化財団<sup>5</sup>」が行っており、民間のノウハウを活かした管理運営を目指している。

施設の維持管理費は、三鷹市が一部を負担しているが、管理運営については、「利用料金制度<sup>6</sup>」を導入した。この制度は、公の施設の管理運営において、管理受託者の自立的な経営努力を発揮しやすくし、自治体の会計事務の効率化を図るため、平成3年の地方自治法の改正で創設された制度である。

これにより財団は、主に来館者の入場料収入を財源として、独立採算的に運営を行うこととなる。このため、入場者数の変化による美術館運営への影響については、自主的な経営改善や事業の縮小などによる対応が必要となり、施設の管理運営全体に自己責任による経営努力と創意工夫が求められる。また、利用料(入場料)は財団が独自に定めることができるが、公の施設として住民の利用に支障をきたすことのないよう承認料金制とし、条例で上限(額)を定め、公的なチェック機能を担保している。

さらに、館内の混雑緩和、事故防止などの観点から、美術館としては全国的に例がない「日時指定の完全予約制」の導入を開館1カ月前に急ぎょ決定した。このことにより、1日あたりの入場者数は2,400人に限定され、最大でも年間72万人となったが、平日

## 図 美術館事業の仕組み



でもチケットがほぼ完売の状況にあり、入場者数は今日まで高い水準を維持している。

## 美術館の開館に向けたまちづくり

三鷹駅から美術館までは、玉川上水沿いを歩き、井の頭恩賜公園内を抜けて約15分の距離にある。このルートは、開館に合わせて新しく整備された、さくら並木が美しい緑豊かな道である。途中には三鷹市山本有三記念館や太宰治の碑などもあり、散策にも適している。また、この玉川上水沿いの道は、道路の愛称を公募し「風の散歩道」と名付けられた。

三鷹駅南口からは、「となりのトトロ」に登場する不思議な動物たちが黄色い車体いっぱい描かれた美術館行きのコミュニティバスが走っており、バスの停留所にもデザインが施されている。この宮崎駿監督がデザインしたキャラクターバスは、子どもたちに大人気である。

また、オリジナルキャラクターの「Poki(ポキ)」（資料参照）を活用し、「三鷹の森ブランド」としてさまざまな商品開発をしている。

## いきいきしている美術館

アニメーションの世界を豊かな収蔵品と特色ある展示品で表現し、子どもから大人までも魅了する、全国的にもあまり例のない美術館である。

武蔵野の面影を残す緑の中に建設された地上2階、地下1階の建物は、一風変わった外観である。外壁は、まるで紙風船のような緑や赤、黄色で色づけられ、ノスタルジーを感じる。また館内は、スタンドグラスやフレスコ画がいたる所に散りばめられ、ファンタジーの世界に迷い込んだような気分になる。子どもたちの心に、きっと夢と希望を届けてくれるだろう。

国内のテーマパークは東京ディズニーランドとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの2強以外、冬の時代に入ったかの様相を呈している。2大テーマパークに比べ、はるかに小さな美術館であるが、国内のみならず海外からの来館者も少しずつ増えている。

「美術館らしくない美術館」が人気の要

資料 Poki(ポキ)



因か、アミューズメントパークと呼ばれているのもなずける。美術館を訪れた人たちが、多くのことを感じ、心が豊かになり、もう一度来たいと思わせるような、「生きている美術館」をつくり続けたい。

## おわりに

この美術館事業の取り組みは、バブル景気の崩壊後であり、市が建設費用を捻出できない状況の中、「官」と「民」における役割を分担することで、お互いの協力があってはじめて実現した事業である。これは、行政による土地の提供、民間による建物の建設、民間の経営手法を活かす財団の設立など、「官」と「民」との協働による新しい事業手法「協働のまちづくり」のひとつのかた

ちである。公共のサービス提供の領域を行政の枠組みの中だけでなく、市民、事業者、NPOなどさまざまな主体との協働の中で推進していく手法の実践であるとも言える。

今自治体に求められているのは、いかに独自性を発揮し、効率的な行政運営を行うかである。地域における資源を最大限に活用した事業の戦略的展開を図り、変化に柔軟かつ機動的に対応できるよう「仕事の仕方を見つけ、実行する」。それが当市の考える自治体経営である。

チケットは、全国のローソン(コンビニエンスストア)で毎月10日(10日が土・日の場合は、翌月曜日)午前10時より翌月分のチケットを販売。  
ローソンチケットインフォメーション  
0570-00-0403  
三鷹の森ジブリ美術館ホームページ  
<http://www.ghibli-museum.jp/>

- 1 東京都が都立井の頭恩賜公園西園の用地を拡張(約2万m<sup>2</sup>)するにあたり、東京都との交渉により、文化施設を建設するために無償で借りる予定になっている土地(約4,000m<sup>2</sup>)。
- 2 株式会社ムゼオ・タルテ・ジブリ：美術館建設のために株式会社徳間書店と日本テレビ放送網株式会社が出資して設立した株式会社。
- 3 負担付き寄附：寄附を受けるにあたり、一定の条件が付され、その条件に基づく義務を履行しない場合に当該寄附が解除されるもの。地方自治体が負担付き寄附を受けるときは、議会の議決を要する。
- 4 公の施設：地方自治体が住民の福祉を増進する目的を持って、その利用に供するために設ける施設。公の施設の設置および管理に関する事項は条例で定めなければならない。
- 5 財団法人徳間記念アニメーション文化財団：三鷹市、株式会社徳間書店、日本テレビ放送網株式会社が主体となり設立。
- 6 利用料金制度：地方自治法の規定により、公の施設の利用料(一般的には入場料や駐車料、宿泊料等)を、その施設の管理を委託されている者が収入として受け取る制度。
- 7 Poki(ポキ)：宮崎駿監督によるデザインで、三鷹市のオリジナルキャラクター。名前は、市民公募により命名された。



1967年生まれ。1989年4月小平市役所入庁。同市市民部納税課。1995年市民部市民課、2001年4月より三鷹市役所企画部企画経営室派遣(現職)。